

最後の晩餐

レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」この絵はミラノの修道院の食堂の壁画として描かれたもので、ある位置から見ると、絵画の天井の線と実際の天井とがつながるようになっています。ところが中央下部が台所に入出入りするため空けられてしまったり、ナポレオン時代には食堂が馬小屋として使われたり、さらに第二次大戦では建物が破壊され、絵は3年間も屋根がないところにおかれていたりしました。損傷が激しいのです。

(2) (3) の写真はハルピンの聖ソフィア大聖堂にあるレプリカ（複製）です。

さて、この中でキリストを裏切ったユダはどこにいるか分かりますか。他の「最後の晩餐」で描かれているユダは、後光がなかったり、テーブルのこちら側に一人いたりするのですが、ここではキリストから身をそらすようにし表情などわかりにくい姿でキリストの左3人目に描かれています。

(3) の画像は右からヨハネ、ペトロ、ユダ、アンデレです。

ヨハネは映画『ダ・ヴィンチ・コード』の影響で女性と見られがちですが、中性的な顔立ちは、この作品に限らずレオナルドによく見られる画風です。

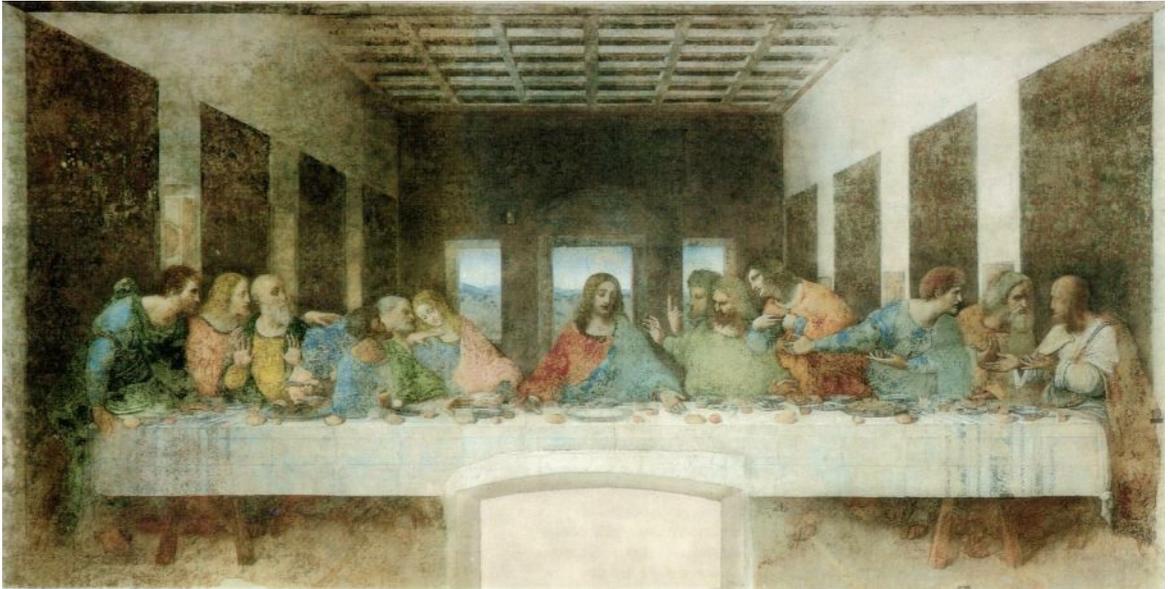
ユダは絵画の損傷のためわかりにくいのですが、銀貨三十枚の入った袋を手にしてるとされています。見えるでしょうか。

またユダの背後にはナイフを持った手が描かれています。これはペトロの右手と見られていますが、残念ながらはっきりとはしません。

「この手をこの向きに出せる人物はおらず、この手の持ち主は謎である」という説もあります。

資料：「[Wikipedia 最後の晩餐](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9C%80%E5%BE%8C%E3%81%AE%E6%99%A9%E9%A4%90_(%E3%83%AC%E3%82%AA%E3%83%8A%E3%83%AB%E3%83%89))」より引用
[http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9C%80%E5%BE%8C%E3%81%AE%E6%99%A9%E9%A4%90_\(%E3%83%AC%E3%82%AA%E3%83%8A%E3%83%AB%E3%83%89\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9C%80%E5%BE%8C%E3%81%AE%E6%99%A9%E9%A4%90_(%E3%83%AC%E3%82%AA%E3%83%8A%E3%83%AB%E3%83%89))

(1)



(2)



(3)

